



介護あんしん 相談員だより

第63号 令和8年7月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見えて気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。現在18名の相談員が活動しています。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和8年3月・4月・5月)



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：入浴は、ゆっくり時間をかけて一人ずつ対応されていていいですね。
施設：入浴は楽しみの一つですからね。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



皆さんお風呂が大好きなので、入浴は午前中2名、午後1名の利用者様で、スタッフは一人ずつ対応されているそうです。ゆっくり湯船に入られていて良いですね。

また、車が好きな利用者様がいて、ご家族と話し合いをして、運転免許証（有効期限切）と車の鍵を常に持たれ、安定した気持ちで過ごされているそうです。

相談員： お一人だけ壁を向いて、個別テーブルで食事をされていますね。

施設： 食事に集中できる配置にしています。

この方は、集団のテーブルでは、周囲の様子が気になり食事に集中出来なかったもので、この配置にされたそうです。その後は、少量ずつの小分け配膳と声かけによって、落ち着いて食べられるようになりました。

施設には、みんなで一緒に賑やかに食事をしたい方、この方のように一人で集中しないと食べられない方等、利用者様の病気の状態等の状況を理解して、工夫しながら対応されているようでした。



～利用者様の声より～



利用者： 朝のおしぼりが嬉しいです。

施設： 最近おしぼり渡しを、再開しました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



コロナ禍以前は朝ご飯配膳時に、おしぼりも一緒に配られていたようですが、コロナ禍では、しばらくお休みされていたようです。

朝のおしぼりで自分の顔を隅々まで拭いたら、サッパリして気持ち良さそうですね。再開されて良かったです。

利用者： 今度から始まるカラオケが楽しみです。

施設： 利用者様の要望で、カラオケ同好会を発足しました。

カラオケ同好会を発足され、毎週日曜日 14 時半から、場所は 1 階のリビングで行われています。

メンバーは自由で、カラオケの案内チラシも利用者様が作成され、自主的に行動されているようです。施設の方も、「日課になれば幸いです。」ということでした。

カラオケで大きな声を出し、笑顔になることは、脳が活性化して血流も良くなり、酸素や栄養素も行き渡ること、認知症予防にもつながりそうですね。

また、歌うことで深く息を吸い、ゆっくり息を吐き出す事は腹式呼吸になり呼吸機能の維持、喉の筋肉や口周りの筋肉を鍛え、楽しみながら誤嚥予防にもなるそうです。

利用者様自由参加の様々な同好会が、いくつも発足されたら楽しそうですね。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。